

地域おこし協力隊 を卒業します！

3名の協力隊が3月を持って退任します。地域の皆様より温かく迎えていただいたこと、心より感謝申し上げます！

3名は新たなステージで活動することになります。紙面を通して皆様へごあいさつさせていただきます！

4年間を振り返って



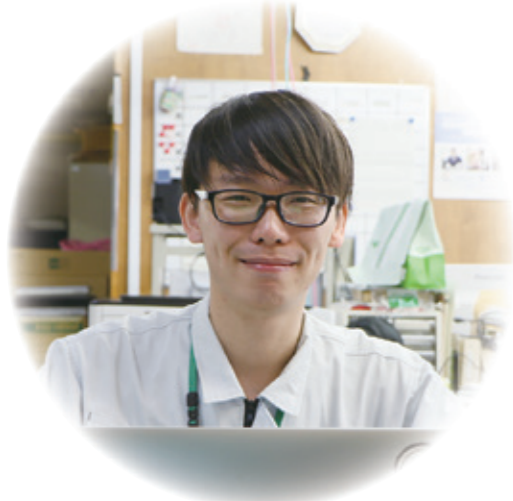
あっという間に4年が経ち、地域おこし協力隊の任期も残り僅かとなりました。東北芸術工科大学を卒業後、最上町に来ましたが、日に日に自然豊かな最上町に心地良さを感じています。1年目から前森高原の陶芸館をリノベーションして陶芸工房「カムロ窯」をスタートさせ、がむしゃらに走り抜けてきました。

退任後もまだまだやりたい事が沢山あり、これからが楽しみです。今後も陶芸館を活用しながら最上町で頑張っていきたいと思っています。これからも、応援頂けると幸いです。



かわわだ かなこ
川和田 哉子
(青森県出身)

退任後も最上地域の交流を



ちょう しんご
張 申豪
(台湾出身)



私は、台湾の人々が最上町を訪れ、この町・この地域に良いイメージを持ってもらうことを願っています。そして、これまでの協力隊の活動を最上町だけでなく、最上エリア全体へと広げていきたいという目標を持つようになりました。その目標を実現するために、任期終了後は最上エリアの中心である新庄市の地域おこし協力隊に赴任することを決めました。これまで培ってきた経験を活かしながら、自分自身がどこまで挑戦できるのか試したいと思います。最後になりますが、最上町の皆様には多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

地域おこし協力隊卒業報告会

地域おこし協力隊卒業報告会が3月1日(土)中央公民館大ホールにて開かれました。3月末をもって卒業する隊員がこれまでの取り組みを発表。参加者たちとよりよい地域づくりへの課題などを共有しました。

報告会には町内・町外から約50名が参加、隊員それぞれの報告とともに、質疑応答と作品展示が行われました。宮城県出身の川和田宗太郎隊員・



青森県出身の川和田哉子隊員の2名は令和3年9月に前森ふれあい陶芸館をリノベーションしてオープンした「カムロ窯」の開業・運営に携わり、4年間の活動を通じ、最上町の土を利用して作った「最上焼」、鮭川村の地域おこし協力隊と協力して作成した「鮭川陶器」などを紹介。「陶芸を通じ、最上町のにぎわいに尽力したい」と意気込みました。2名は今後も町内で陶芸活動を続けます。

台湾出身の張申豪隊員は、最上町におけるインバウンド観光の取組、町内の小学校と台湾の小学校との国際交流学习、台湾からの渡航者が最上町に与える影響について紹介、「最上町を含む最上地域は空港からのアクセスが課題です」と率直に語りました。「最上地域全体のインバウンドを活性化させたい」と意気込んでおり、張隊員は今後、新庄市の地域おこし協力隊として活動を継続する予定となっています。

卒業される3名の隊員の今後の活躍に期待します。

最上焼とこれから



かわわだ しゅうたろう
川和田 宗太郎
(宮城県出身)



地域おこし協力隊として最上町で活動して4年、当初の目標としてきた「最上焼」が遂に完成しました。陶器として使用できる粘土や、釉薬として適した灰・土石類を調査し、数々の焼成テストを重ねた結果、最後に器として皆様に自信をもって発表できる品質に仕上がりました。

ぜひ多くの町民の皆様に「最上焼」をご覧いただければ幸いです。なお、退任後も前森高原で陶芸工房「カムロ窯」を続け、最上町に根付きながら活動を続けていく予定です。陶芸体験や最上焼などの器類の販売も継続して行いますので、今後ともよろしくお願致します。